

平成 26 年 5 月

静岡市静岡地区（静岡県）

全体総括

○計画期間：平成 21 年 3 月～平成 26 年 3 月（5 ヶ年）

1. 計画期間終了後の市街地の状況（概況）

本計画では、本市静岡地区中心市街地におけるにぎわいの減退やまちなか離れの改善等を図るため、「人」が主役の憩い・くつろぎのまち」「人」が集まる魅力・にぎわいのまち」を目標に掲げ、その実現に向けた各種事業を、官民連携し一体的・総合的に取り組んできた。

本計画掲載事業のうち、市街地再開発や文化・医療施設等複数のハード整備事業を面的に実施することで、都市機能の拡充や集客・交流拠点の充実、まちなか居住の推進等が図られた。特に、鷹匠 1-14 地区優良建築物等整備事業や、静岡駅前紺屋町地区市街地再開発事業、静岡市美術館整備事業等、静岡地区中心市街地の中軸エリアに多様な施設が整備されたことにより、まちの魅力・価値の創造や、市民の生活・文化の向上、快適性の推進等にも大きく寄与した。その他、歩行者重視の魅力ある都市空間の形成や、まちなかアクセス向上を図るため、静岡駅北口広場整備事業、紺屋町地下道リニューアル事業等を実施し、まちなか空間・景観の質的改善や、徒歩回遊性向上を推進する機運が醸成された。

また、地域に根付いた伝統ある行事や、新たな着想による市民協働イベント等、様々なソフト事業が実施され、にぎわいの創出やコミュニティ機能の向上、地域への愛着・誇りの醸成等がなされた。更に、市民から“おまち”と称され親しまれている静岡地区中心市街地を、元気で楽しい街にすることを目指し、企業・団体・個人・行政等、業種・業態を超えた多様な主体が“オール静岡”として参画した「I Love しずおか協議会」が平成 24 年 5 月に設立され、にぎわい創出を中心とした多岐にわたる取り組みを実施した。これらの緒活動を通じて、各地域主体がまちづくりへ積極的に参画・協働する意識が醸成され、今後の民間まちづくり活動の活発化や連携の強化が期待されている。

以上のように、本計画に基づく各種事業の実施により一定の成果が果たされ、また下記「5.」のように市民評価も改善傾向にある等、中心市街地を取り巻く雰囲気は明るい兆しを取り戻しつつある。しかしながら、本市の更なる発展に向け取り組むべき課題は依然として残されており、今後も静岡地区中心市街地活性化施策を積極的・継続的に推進する必要性は高いと認識されている。

2. 計画した事業は予定どおり進捗・完了したか。また、中心市街地の活性化は図られたか（個別指標毎ではなく中心市街地の状況を総合的に判断）

【進捗・完了状況】

- ①概ね順調に進捗・完了した ②順調に進捗したとはいえない

【活性化状況】

- ①かなり活性化が図られた
 ②若干の活性化が図られた
 ③活性化に至らなかった（計画策定時と変化なし）
 ④活性化に至らなかった（計画策定時より悪化）

【詳細を記載】

全 92 事業のうち、44 事業が完了、48 事業が継続実施であり、概ね当初の予定どおり順調に進捗・完了したと言える。

これらの事業を実施することで、上記「1.」に記載のとおり、都市機能や集客・交流拠点の充実、にぎわいの創出等、一定の成果を果たしたことに加え、下記「5.」のとおり、市民意識も改善傾向の評価を受けている。目標として設定した 3 指標のうち 1 指標を達成し、目標に達しない指標でも、下落傾向が底を打ち改善に転じたものもある。これらは、本計画に基づく各種事業の総合的・一体的

推進による成果であり、静岡地区中心市街地は改善の兆しが伺え、若干の活性化が図られたものと言える。

3. 活性化が図られた（図られなかった）要因（静岡市としての見解）

大きく活性化が図られなかった前提として、東日本大震災による社会的・精神的影響や、リーマンショックによる経済停滞等、本市を取り巻く外的要因が大きく影響した事実は否めない。

静岡地区中心市街地においては、上記「1.」及び「2.」で記載したとおり、中心市街地の中軸エリアに多様な施設が複数整備されたことにより、都市機能や集客・交流拠点の充実、まちなか居住の推進等が図られ、また様々なソフト事業が実施されたことにより、にぎわいの創出やコミュニティ機能の向上がなされる等、個々の事業では一定の成果を上げた。ただ、“商都”と称される本市においては、目標指標の1つである年間小売販売額が未達成であることに表されているように、商業機能が十分に改善していないことが、区域全体の活性化が十分に果たされなかった主な要因の一つであると推察する。

それら負の要因に対するため、計画期間内に4度の計画変更を行った。特に、平成24年3月には「I Love しずおか協議会主催事業」を新たに追加し、当該事業を実施することで、にぎわいの創出や地域への愛着喚起の推進等に寄与した。

4. 中心市街地活性化協議会として、計画期間中の取組みをふり返ってみて（協議会としての意見）

【活性化状況】

- ①かなり活性化が図られた
- ②若干の活性化が図られた
- ③活性化に至らなかった（計画策定時と変化なし）
- ④活性化に至らなかった（計画策定時より悪化）

【詳細を記載】

本協議会は、行政・関係団体等と連携・調整を図り、内閣総理大臣の認定を受けた静岡市中心市街地活性化基本計画（静岡地区）の実施に関し、意見提出等を行ってきた。本計画に搭載された事業は、各事業主体の尽力により概ね順調に実施されたと考える。特に「鷹匠 1-14 地区優良建築物等整備事業（新静岡セノバ）」、「静岡駅前紺屋町地区市街地再開発事業（葵タワー）」、「静岡市美術館整備事業」等により都市機能の拡充、まちの魅力・価値の創造、市民の生活・文化の向上、集客・交流拠点の充実、まちなか居住の推進等が図られた。また、静岡駅北口広場整備事業、紺屋町地下道リニューアル整備事業等によりまちなか空間・景観の質的改善や快適性・回遊性の向上も図られた。さらに、市民から“おまち”と称され親しまれている静岡地区中心市街地を元気にするため、企業・団体・商店街・行政・個人等がオール静岡となって様々なソフト事業に取り組む『I Love しずおか協議会』が平成24年5月に設立され、賑わいの創出等に大きく貢献するなど、民間発意によるまちづくり活動の活発化や連携の強化が今後も期待されている。

これらにより中心市街地の活性化に相当程度の効果が発現したものと評価できる。本計画の目標として設定した3指標のうち、歩行者通行量及び年間小売販売額は残念ながら未達成だったが、施設利用者数は目標をクリアした。本計画期間完了直後に開業した「静岡呉服町第一地区市街地再開発事業（呉服町タワー）」や、現在様々な再開発事業が進行中の「七間町エリア」、「静岡呉服町第二地区市街地再開発事業」、等の効果発現により今後、未達成の指標も改善に向かうことが大いに期待される。

本計画において残された課題や、この5年間で新たに生じた課題の解消に向け、各事業の推進による効果を活かしながら、時代に即した新たな取り組みを引き続き行い、市民や関係団体等からの十分な理解や参加の下、静岡地区中心市街地の更なる活性化を目指すべきである。

5. 市民からの評価、市民意識の変化

【活性化状況】

- ①かなり活性化が図られた
- ②若干の活性化が図られた

③活性化に至らなかった（計画策定時と変化なし）

④活性化に至らなかった（計画策定時より悪化）

【詳細を記載】

＜市民意識調査の実施概要＞

実施主体：静岡市広報課

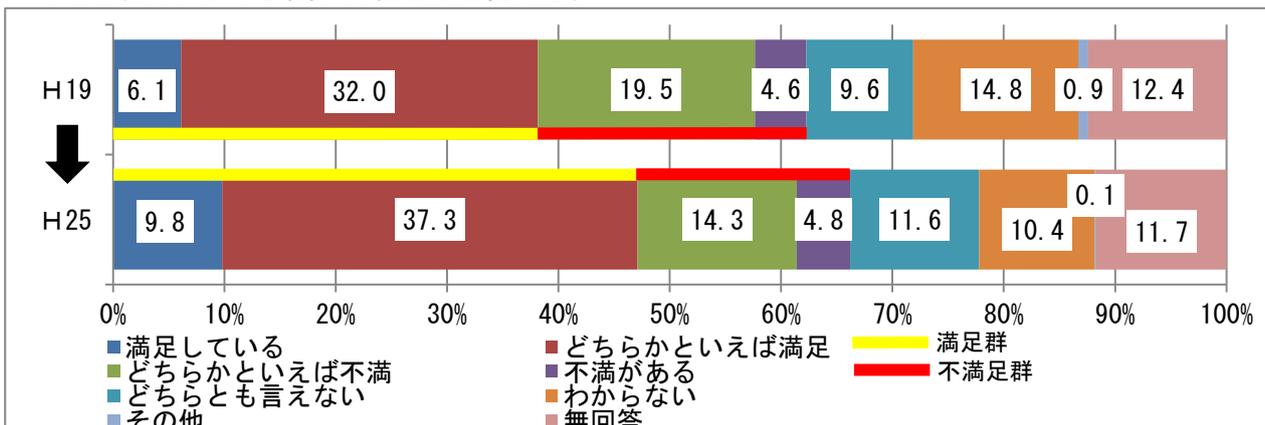
	基準値（平成 19 年度）	最新値（平成 25 年度）
調査日	平成 19 年 8 月 1 日～21 日（21 日間）	平成 25 年 7 月 1 日～22 日（22 日間）
調査方法	静岡市に居住する 20 歳以上の男女 5,887 名を無作為抽出	静岡市に居住する 20 歳以上の男女 5,000 名を無作為抽出
有効回収	2,926 名（49.7%）	2,090 名（41.8%）

○満足度

設 問「あなたは、中心市街地の現状について、どう評価していますか？」

選択肢 ①満足している ②どちらかと言えば満足 ③どちらかと言えば不満 ④不満がある
⑤どちらとも言えない ⑥わからない

「満足している」「どちらかと言えば満足している」の『満足群』は、平成 19 年度が 38.1%だったのに対し、平成 25 年度は 47.1%となり、9.0%増加した。また、「不満がある」「どちらかと言えば不満がある」の『不満群』は、平成 19 年度 24.1%が平成 25 年度 19.1%となり、5.0%減少した。静岡地区中心市街地に満足している人は半数近くに及び、また不満を持つ人も減少する等、本計画の取り組みにより、更に好転したと言える。

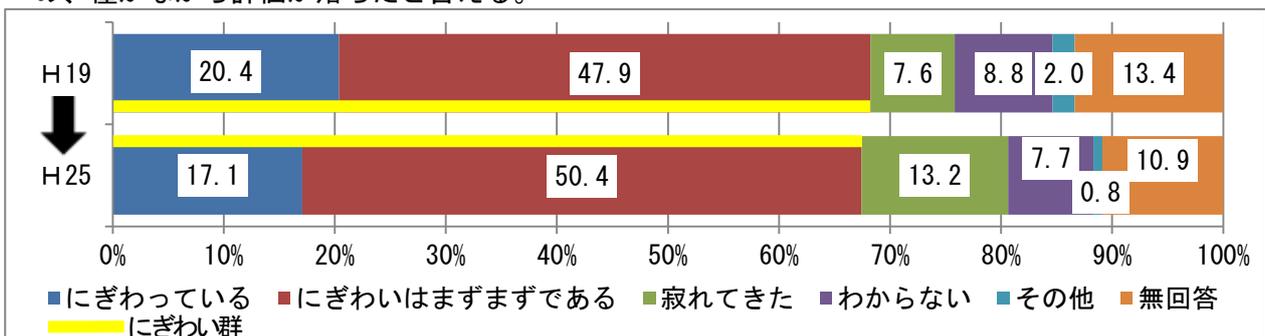


○にぎわいの印象

設 問「あなたは、中心市街地についてどう思っていますか？」

選択肢 ①にぎわっている ②にぎわいはまずまずである ③寂れてきた ④わからない

「にぎわっている」「にぎわいはまずまずである」を合わせた『にぎわい群』は、平成 19 年度が 68.3%だったのに対し、平成 25 年度は 67.5%となり、ほぼ同水準（0.8%減）で推移した。また、「寂れてきた」との回答は、平成 19 年度 7.6%が平成 25 年度 13.2%となり、5.6%増加した。静岡地区中心市街地のにぎわいの印象は、約 7 割がプラスの評価をする等高水準は維持しているものの、僅かながら評価が落ちたと言える。

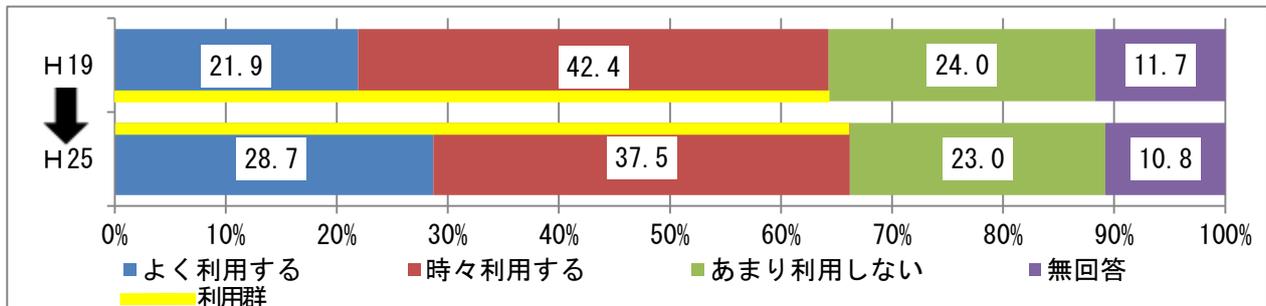


○利用頻度

設問「あなたは、中心市街地をどの程度利用していますか？」

選択肢 ①よく利用する ②時々利用する ③あまり利用しない

「よく利用する」「時々利用する」の『利用群』は、平成19年度が64.3%だったのに対し、平成25年度は66.2%となり、1.9%増加した。また、「あまり利用しない」との回答は、平成19年度24.0%が平成25年度23.0%となり、1.0%減少した。静岡地区中心市街地の利用頻度は依然として高く、本計画の取り組みにより、更に好転したと言える。



6. 今後の取り組み

本市においては、当フォローアップ内容や、平成27年度を始期とする第3次市総合計画の方向性、国による中心市街地活性化施策改正内容（中活法、基本方針）等を踏まえ、新たな中心市街地活性化基本計画を策定し、引き続き『商都・静岡』の活性化を総合的・一体的に図っていく。その推進にあたっては、これまでに整備・実施した既存ストックをベースに、新たな機会を最大限に活用する取り組みを実践し、各事業を密接に連携させることで相乗効果を図っていく。特に、徒歩回遊性の向上や、老朽化した建物の更新等に加え、歴史・文化・自然等の地域資源・特色を活かした取り組みが、一層有用であると考え。それらの多様な取り組みを通じ、地区のまちづくりを牽引する人材・組織の育成・連携も図ることで、民間活力を最大限に活用した活性化を一層推進していく。

(参考) 各目標の達成状況

目標	目標指標	基準値 (H19)	目標値 (H25)	最新値		達成 状況
				数値	年月	
「人」が主役の、 憩い・くつろぎのまち (都市空間の質的改善)	歩行者通行量	28,232人	30,500人	24,784人	平成25年11月	C
	【参考指標】 滞在時間	30~40代 2.7時間 50~60代 2.8時間	30~60代 3.0時間	30~60代 2.8時間	平成25年11月	B
「人」が集まる、 魅力・にぎわいのまち (集客・交流機能の魅力向上)	年間小売販売額	1,586億円	1,684億円	1,336億円 (推計)	平成26年3月	C
	施設利用者数	168万人	180万人	212万人	平成26年3月	A

注) 達成状況欄 (注: 小文字のa、b、cは下線を引いて下さい)

A (計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了。さらに、最新の実績でも目標値を超えることができた。)

a (計画した事業は予定どおり進捗・完了しなかった。一方、最新の実績では目標値を超えることができた。)

B (計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了。一方、最新の実績では基準値を超えることができたが、目標値には及ばず。)

b (計画した事業は予定どおり進捗・完了しなかった。また、最新の実績では基準値を超えることができたが、目標値には及ばず。)

C (計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了。一方、最新の実績では目標値および基準値にも及ばなかった。)

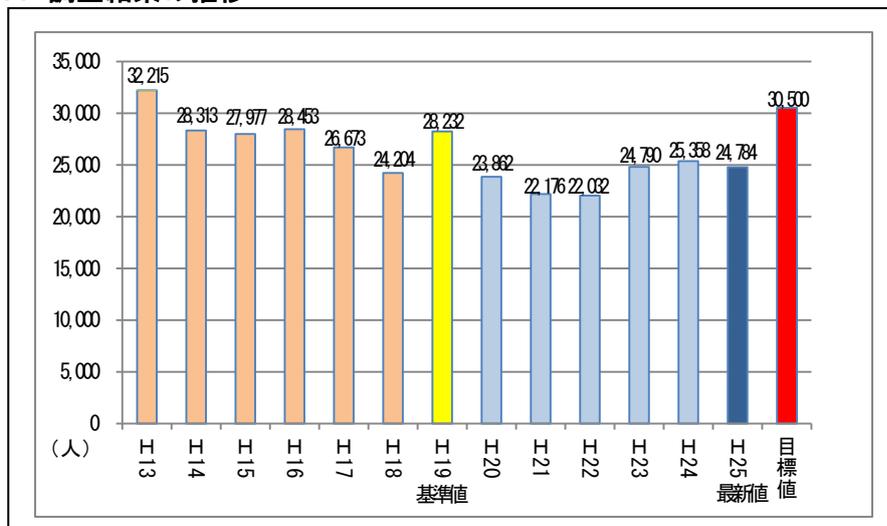
c (計画した事業は予定どおり進捗・完了しなかった。また、最新の実績では目標値および基準値にも及ばなかった。)

個別目標

目標「人」が主役の、憩い・くつろぎのまち」（都市空間の質的改善）

「歩行者通行量」※目標設定の考え方基本計画 P73～P84 参照

1. 調査結果の推移



年	(人)
H19 (基準値)	28,232
H20	23,862
H21	22,176
H22	22,032
H23	24,790
H24	25,358
H25	24,784
(目標値)	30,500

調査名称：静岡地域中心商店街通行量調査

調査日時：平成 25 年 11 月 24 日（日）10 時～17 時 ※毎年 11 月最終日曜日実施

調査主体：静岡商工会議所

調査方法：小学生以上の歩行者を対象とし、全 79 地点で調査

集計方法：紺屋町（6 地点）呉服町（6 地点）伝馬町（3 地点）エリア各調査地点平均値を合計

【総括】

歩行者通行量が示す「人」が主役の、憩い・くつろぎのまち」の実現に向けた事業は、概ね順調に進捗・完了した。特に、主要事業である鷹匠 1-14 地区優良建築物等整備事業（新静岡センター建替え事業）等が整備された以降は、本指標の減少傾向は底を打ち、都市空間の質的改善に向けた一定の効果は見られたが、最新値は 24,784 人に留まり、目標値である 30,500 人には及ばず、目標は未達成である。

2. 目標達成に寄与する主要事業の計画終了後の状況（事業効果）

① 鷹匠 1-14 地区優良建築物等整備事業（新静岡センター建替え事業）（静岡鉄道(株)）

支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業） 平成 21 年度～平成 23 年度
事業開始・完了時期	平成 21 年度～平成 23 年度【済】
事業概要	大型商業施設、鉄道駅、バスターミナル、事務所を併設する民間再開発ビルの整備 [延床面積：約85,600㎡ 階数：地上11階、地下1階 用途：商業施設（地下1階～6階、10階～11階、27,765㎡、123店舗）、駐車場（地上7階～9階、556台）]
目標値・最新値	目標値： 5,525 人増（①～④事業の計） 最新値： 2,239 人増（①～④事業の計 推計）
達成状況	未達成
達成した（出来なかった）理由	指標算出根拠 4 事業（①～④）のうち、鷹匠 1-14 地区優良建築物等整備事業を含む 2 事業が完了・開業し、広域拠点性・快適性の向上が図られ、来街者の増加や滞在の延伸等、一定の効果はあったが、1 事業が完了するも開業前、1 事業が未完了であったこともあり、4 事業総体とし

	ての目標達成には至らなかった
計画終了後の状況（事業効果）	歩行者通行量増加が図られるとともに、地区のにぎわいの創出や小売販売額の増加等の効果が図られた
当該事業の今後について	実施済

②. 静岡駅前紺屋町地区市街地再開発事業（静岡駅前紺屋町地区市街地再開発組合）

支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（市街地再開発事業等） 平成 17 年度～平成 22 年度
事業開始・完了時期	平成 17 年度～平成 22 年度【済】
事業概要	商業施設、宴会場、美術館等を備えた民間再開発ビルの整備 [延床面積：約 53,500 m ² 階数：地上 25 階、地下 2 階 用途：商業施設（4,478 m ² 、11 店舗）、業務施設、公共公益施設（美術館）、宴会場]
目標値・最新値	目標値： 5,525 人増（①～④事業の計） 最新値： 2,239 人増（①～④事業の計 推計）
達成状況	未達成
達成した（出来なかった）理由	指標算出根拠 4 事業（①～④）のうち、静岡駅前紺屋町地区市街地再開発事業を含む 2 事業が完了・開業し、広域拠点性・快適性の向上が図られ、来街者の増加や滞在の延伸等、一定の効果はあったが、1 事業が完了するも開業前、1 事業が未完了であったこともあり、4 事業総体としての目標達成には至らなかった
計画終了後の状況（事業効果）	歩行者通行量の増加が図られるとともに、地区のにぎわいの創出や小売販売額の増加等の効果が図られた
当該事業の今後について	実施済

③. 静岡呉服町第一地区市街地再開発事業（呉服町第一地区市街地再開発準備組合）

支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業） 平成 23 年度～平成 25 年度
事業開始・完了時期	平成 21 年度～平成 25 年度【済】
事業概要	商業施設、住宅、事務所、駐車場を備えた民間再開発ビルの整備 [延床面積：約 54,200 m ² 階数：地上 29 階、地下 1 階 用途：商業施設（2,083 m ² 、5 店舗）、業務施設、住宅（279 戸）、駐車場（449 台）、駐輪場（717 台）]
目標値・最新値	目標値： 5,525 人増（①～④事業の計） 最新値： 2,239 人増（①～④事業の計 推計）
達成状況	未達成
達成した（出来なかった）理由	指標算出根拠 4 事業（①～④）のうち 2 事業が完了・開業し、広域拠点性・快適性の向上が図られ、来街者の増加や滞在の延伸等、一定の効果はあったが、1 事業が完了するも開業前、1 事業が未完了であったこともあり、4 事業総体としての目標達成には至らなかった
計画終了後の状況（事業効果）	平成 26 年 4 月に開業し、歩行者通行量の増加が図られるとともに、地区のにぎわいの創出や小売販売額の増加等の効果が見込まれる
当該事業の今後について	実施済

④. 静岡呉服町第二地区市街地再開発事業（呉服町第二地区市街地再開発準備組合）

支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（市街地再開発事業等） 平成 23 年度～平成 28 年度
事業開始・完了時期	平成 21 年度～平成 28 年度【未】
事業概要	商業施設、事務所、高齢者施設、駐車場を備えた民間再開発ビルの整備 [延床面積：約 19,500 m ² 階数：地上 13 階、地下 1 階 用途：商業施設、業務施設、高齢者施設、駐車場（約 230 台）]
目標値・最新値	目標値： 5,525 人増（①～④事業の計） 最新値： 2,239 人増（①～④事業の計 推計）
達成状況	未達成
達成した（出来なかった）理由	指標算出根拠 4 事業（①～④）のうち 2 事業が完了・開業し、広域拠点性・快適性の向上が図られ、来街者の増加や滞在の延伸等、一定の効果はあったが、1 事業が完了するも開業前、1 事業が未完了であったこともあり、4 事業総体としての目標達成には至らなかった
計画終了後の状況（事業効果）	平成 28 年度施設竣工・開業し、歩行者通行量の増加が図られるとともに、地区のにぎわいの創出や小売販売額の増加等の効果が見込まれる
当該事業の今後について	平成 28 年度の竣工に向け、平成 26 年度に市街地再開発組合の設立、権利変換計画の認可、平成 27 年度から建築工事着工予定

⑤. 静岡市立病院静岡新館建設工事（静岡市）

支援措置名及び支援期間	—
事業開始・完了時期	平成 17 年度～平成 21 年度【済】
事業概要	新たな医療機器の導入や救急外来の拡充等と合わせ、東館建替え、西館リニューアル、駐車場整備等により、市立病院の施設・機能を拡充 [東館概要 床面積：23,698 m ² 階数：地下 1 階 地上 13 階 内容：ハートセンター（心臓血管外科・循環器科）の整備・拡充等] [西館概要 床面積：25,307 m ² 階数：地上 13 階、地下 1 階 内容：外来・病棟部分改修等] [駐車場概要 床面積：7,981 m ² 機能：5 層 6 段自走式立体駐車場、225 台収容]
目標値・最新値	目標値： 274 人増 最新値： 53 人減（推計）
達成状況	未達成
達成した（出来なかった）理由	市立病院静岡新館建設工事が当初予定どおり完了し、地域医療の中核として多くの患者等を受け入れたが、併せて駐車場整備等も行ったため、必ずしも歩行者通行量の増加には繋がらなかった
計画終了後の状況（事業効果）	ある程度の歩行者通行量を確保し、地区のにぎわいの創出や小売販売額の増加等の効果が見込まれる
当該事業の今後について	実施済

⑥. 静岡市美術館整備事業（静岡市）

支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業） 平成 21 年度～平成 22 年度
事業開始・完了	平成 21 年度～平成 22 年度【済】

時期	
事業概要	静岡市美術館の整備 [延床面積：3,393.22㎡、展示室面積 約1,100㎡ (展示室1：209.76㎡、展示室2：713.03㎡、展示室3：204.17㎡、エ ントランスホール：612㎡、多目的室 180㎡、ワークショップ室：92㎡)]
目標値・最新値	目標値： 274人増 最新値：1,009人増(推計)
達成状況	達成
達成した(出来 なかった)理由	静岡市美術館整備事業が当初予定どおり完了し、幅広いジャンルの展覧 会等を開催したため
計画終了後の状 況(事業効果)	歩行者通行量の増加が図られるとともに、地区のにぎわいの創出や小売 販売額の増加等の効果が見込まれる
当該事業の今後 について	実施済

3. 今後について

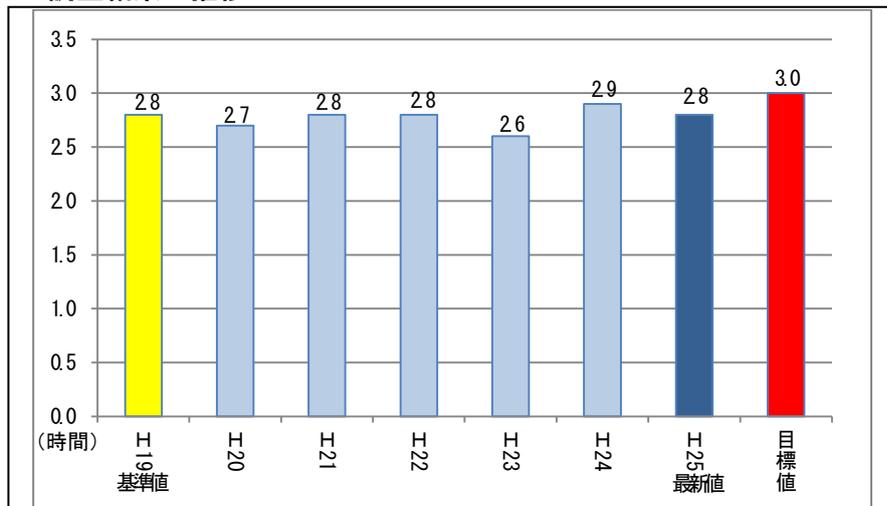
今後も静岡地区中心市街地の活性化を推進する上で、地域のにぎわい創出の根幹となる歩行者通行量の増加を推進することは、本計画終了後も引き続き取り組むべき課題と考える。本計画に基づき実施した各種事業、特に市街地再開発4事業や市街地整備、美術館、病院等を既存ストックとして最大限活用し、地域に根付いた伝統行事や創意工夫に富んだイベントの開催等のソフト事業も実施することで、広域からの集客を図り、歩行者通行量の増加を推進するよう一層努める。更に静岡駅北口広場整備事業、紺屋町地下道リニューアル事業で醸成された徒歩回遊性施策推進の機運を基礎とし、誰もが快適に歩いて回遊できるまちづくりを継続する。各拠点個々の魅力・個性を活かしたまちづくりを図った上で、それらを密接に連携させることで各拠点間の回遊性を高め、区域全体の活性化に繋げることが重要である。

個別目標

目標「人」が主役の、憩い・くつろぎのまち」（都市空間の質的改善）

参考指標「滞在時間の向上（30代～60代）」※目標設定の考え方基本計画 P85～P89 参照

1. 調査結果の推移



年	(時間)
H19 (基準値)	2.8
H20	2.7
H21	2.8
H22	2.8
H23	2.6
H24	2.9
H25	2.8
(目標値)	3.0

調査名称：静岡地域中心商店街お買物調査

調査日時：平成 25 年 11 月 24 日（日）10 時～17 時 ※毎年 11 月最終日曜日実施

調査主体：静岡商工会議所

調査方法：来街者 600 人への面接アンケート調査、全 10 地点（60 人×10 地点）

集計方法：30～60 代回答者の平均滞在時間を集計

【総括】

滞在時間が示す「人」が主役の、憩い・くつろぎのまち」の実現に向けた事業は、概ね順調に進捗・完了した。主要事業である鷹匠 1-14 地区優良建築物等整備事業（新静岡センター建替え事業）や静岡市美術館整備事業に加え、静岡駅北口広場整備事業、駿府城公園再整備事業等が完了することで、都市空間の質的改善に向けて一定の効果は見られたが、指標はほぼ横ばいに推移している。最新値は 2.8 時間に留まり、目標値である 3.0 時間には及ばず、目標は未達成である。

2. 目標達成に寄与する主要事業の計画終了後の状況（事業効果）

①. 鷹匠 1-14 地区優良建築物等整備事業（新静岡センター建替え事業）（静岡鉄道(株)）

支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業） 平成 21 年度～平成 23 年度
事業開始・完了時期	平成 21 年度～平成 23 年度【済】
事業概要	大型商業施設、鉄道駅、バスターミナル、事務所を併設する民間再開発ビルの整備 [延床面積：約 85,600 m ² 階数：地上 11 階、地下 1 階 用途：商業施設（地下 1 階～6 階、10 階～11 階、27,765 m ² 、123 店舗）、駐車場（地上 7 階～9 階、556 台）]
目標値・最新値	目標値： 2,348 時間増（①～④事業の計） 最新値： 796 時間増（①～④事業の計 推計）
達成状況	未達成
達成した（出来なかった）理由	指標算出根拠 4 事業（①～④）のうち、鷹匠 1-14 地区優良建築物等整備事業を含む 2 事業が完了・開業し、広域拠点性・快適性の向上が図られ、来街者の増加や滞在の延伸等、一定の効果はあったが、1 事業が完了するも開業前、1 事業が未完了であったこともあり、4 事業総体としての目標達成には至らなかった
計画終了後の状況（事業効果）	滞在時間の増加が図られるとともに、地区のにぎわいの創出や小売販売額の増加等の効果が図られた
当該事業の今後	実施済

について	
------	--

②. 静岡駅前紺屋町地区市街地再開発事業（静岡駅前紺屋町地区市街地再開発組合）

支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（市街地再開発事業等） 平成 17 年度～平成 22 年度
事業開始・完了時期	平成 17 年度～平成 22 年度【済】
事業概要	商業施設、宴会場、美術館等を備えた民間再開発ビルの整備 [延床面積：約 53,500 m ² 階数：地上 25 階、地下 2 階 用途：商業施設（4,478 m ² 、11 店舗）、業務施設、公共公益施設（美術館）、宴会場]
目標値・最新値	目標値： 2,348 時間増（①～④事業の計） 最新値： 796 時間増（①～④事業の計 推計）
達成状況	未達成
達成した（出来なかった）理由	指標算出根拠 4 事業（①～④）のうち、静岡駅前紺屋町地区市街地再開発事業を含む 2 事業が完了・開業し、広域拠点性・快適性の向上が図られ、来街者の増加や滞在の延伸等、一定の効果はあったが、1 事業が完了するも開業前、1 事業が未完了であったこともあり、4 事業総体としての目標達成には至らなかった
計画終了後の状況（事業効果）	滞在時間の増加が図られるとともに、地区のにぎわいの創出や小売販売額の増加等の効果が図られた
当該事業の今後について	実施済

③. 静岡呉服町第一地区市街地再開発事業（呉服町第一地区市街地再開発準備組合）

支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業） 平成 23 年度～平成 25 年度
事業開始・完了時期	平成 21 年度～平成 25 年度【済】
事業概要	商業施設、住宅、事務所、駐車場を備えた民間再開発ビルの整備 [延床面積：約 54,200 m ² 階数：地上 29 階、地下 1 階 用途：商業施設（2,083 m ² 、5 店舗）、業務施設、住宅（279 戸）、駐車場（449 台）、駐輪場（717 台）]
目標値・最新値	目標値： 2,348 時間増（①～④事業の計） 最新値： 796 時間増（①～④事業の計 推計）
達成状況	未達成
達成した（出来なかった）理由	指標算出根拠 4 事業（①～④）のうち 2 事業が完了・開業し、広域拠点性・快適性の向上が図られ、来街者の増加や滞在の延伸等、一定の効果はあったが、1 事業が完了するも開業前、1 事業が未完了であったこともあり、4 事業総体としての目標達成には至らなかった
計画終了後の状況（事業効果）	平成 26 年 4 月に開業し、滞在時間の増加が図られるとともに、地区のにぎわいの創出や小売販売額の増加等の効果が見込まれる
当該事業の今後について	実施済

④. 静岡呉服町第二地区市街地再開発事業（呉服町第二地区市街地再開発準備組合）

支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（市街地再開発事業等） 平成 23 年度～平成 28 年度
事業開始・完了時期	平成 21 年度～平成 28 年度【未】
事業概要	商業施設、事務所、高齢者施設、駐車場を備えた民間再開発ビルの整備 [延床面積：約 19,500 m ² 階数：地上 13 階、地下 1 階 用途：商業施設、業務施設、高齢者施設、駐車場（約 230 台）]

目標値・最新値	目標値： 2,348 時間増 (①～④事業の計) 最新値： 796 時間増 (①～④事業の計 推計)
達成状況	未達成
達成した(出来なかった)理由	指標算出根拠4事業(①～④)のうち2事業が完了・開業し、広域拠点性・快適性の向上が図られ、来街者の増加や滞在の延伸等、一定の効果はあったが、1事業が完了するも開業前、1事業が未完了であったこともあり、4事業総体としての目標達成には至らなかった
計画終了後の状況(事業効果)	平成28年度施設竣工・開業し、滞在時間の増加が図られるとともに、地区のにぎわいの創出や小売販売額の増加等の効果が見込まれる
当該事業の今後について	平成28年度の竣工に向け、平成26年度に市街地再開発組合の設立、権利変換計画の認可、平成27年度から建築工事着工予定

⑤. 静岡市美術館整備事業(静岡市)

支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業) 平成21年度～平成22年度
事業開始・完了時期	平成21年度～平成22年度【済】
事業概要	静岡市美術館の整備 [延床面積：3,393.22㎡、展示室面積 約1,100㎡ (展示室1：209.76㎡、展示室2：713.03㎡、展示室3：204.17㎡、エントランスホール：612㎡、多目的室 180㎡、ワークショップ室：92㎡)]
目標値・最新値	目標値： 223 時間増 最新値： 716 時間増(推計)
達成状況	達成
達成した(出来なかった)理由	静岡市美術館整備事業が当初予定どおり完了し、幅広いジャンルの展覧会等を開催したため
計画終了後の状況(事業効果)	滞在時間の増加が図られるとともに、地区のにぎわいの創出や小売販売額の増加等の効果が図られた
当該事業の今後について	実施済

3. 今後について

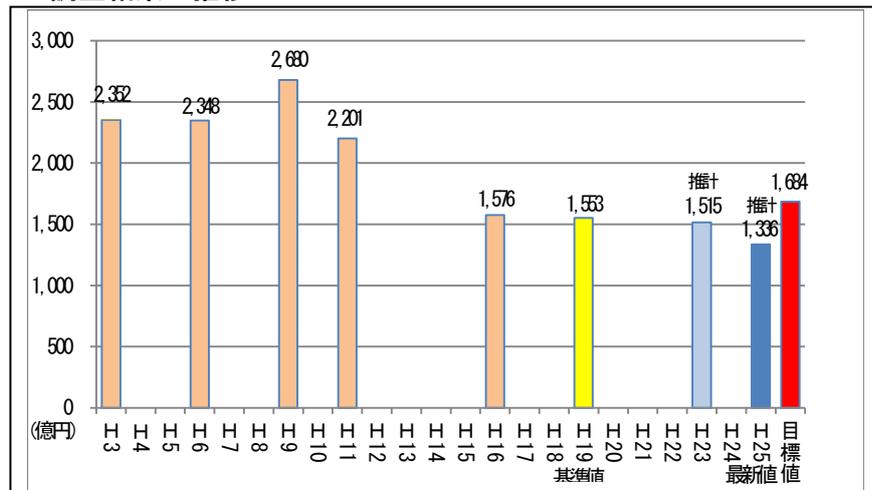
今後も静岡地区中心市街地の活性化を推進する上で、まちの魅力・快適性を向上させ、来街者の滞在時間を増加させることは、本計画終了後も引き続き取り組むべき課題と考える。本計画に基づき実施した各種事業、特に市街地再開発4事業や市街地整備、美術館等を既存ストックとして最大限活用し、静岡駅北口広場整備事業、紺屋町地下道リニューアル事業等で醸成された徒歩回遊性推進の機運を基礎とし、誰もが安全・快適に滞在できるまちづくりの推進を継続する。

個別目標

目標「人」が集まる、魅力・にぎわいのまち」（集客・交流機能の魅力向上）

「年間小売販売額」※目標設定の考え方基本計画 P90～P94 参照

1. 調査結果の推移



年	(億円)
H19 (基準値)	1,553
H20	
H21	
H22	
H23	1,515 (推計)
H24	
H25	1,336 (推計)
(目標値)	1,684

集計方法：平成 19 年度商業統計調査、平成 24 年度経済センサス活動調査、中心市街地区域内大型店間取り内容等による市全域及び静岡地区中心市街地年間小売販売額推移等を基に推計

【総括】

年間小売販売額が示す「人」が集まる、魅力・にぎわいのまち」の実現に向けた事業は、概ね順調に進捗・完了した。主要事業である鷹匠 1-14 地区優良建築物等整備事業（新静岡センター建替え事業）等が整備され、集客・交流機能の魅力向上に向けて一定の効果は見られたが、最新値は 1,336 億円（推計）に留まり、目標値である 1,684 億円には及ばず、目標は未達成である。

2. 目標達成に寄与する主要事業の計画終了後の状況（事業効果）

①. 鷹匠 1-14 地区優良建築物等整備事業（新静岡センター建替え事業）（静岡鉄道(株)）

支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業） 平成 21 年度～平成 23 年度
事業開始・完了時期	平成 21 年度～平成 23 年度【済】
事業概要	大型商業施設、鉄道駅、バスターミナル、事務所を併設する民間再開発ビルの整備 [延床面積：約85,600㎡ 階数：地上11階、地下1階 用途：商業施設（地下1階～6階、10階～11階、27,765㎡、123店舗）、駐車場（地上7階～9階、556台）]
目標値・最新値	目標値： 268.3 億円増（①～④事業の計） 最新値： 128.3 億円増（①～④事業の計 推計）
達成状況	未達成
達成した（出来なかった）理由	指標算出根拠 4 事業（①～④）のうち、鷹匠 1-14 地区優良建築物等整備事業を含む 2 事業が完了・開業したことにより一定の商業振興が図られたものと推察するが、1 事業が完了するも開業前、1 事業が未完了であったこともあり、4 事業総体としての目標達成には至らなかった
計画終了後の状況（事業効果）	年間小売販売額の増加が図られるとともに、地域経済の活性化（雇用の創出、新たな民間事業の喚起）等の効果が見込まれる
当該事業の今後について	実施済

②. 静岡駅前紺屋町地区市街地再開発事業（静岡駅前紺屋町地区市街地再開発組合）

支援措置名及び	社会資本整備総合交付金（市街地再開発事業等）
---------	------------------------

支援期間	平成 17 年度～平成 22 年度
事業開始・完了時期	平成 17 年度～平成 22 年度【済】
事業概要	商業施設、宴会場、美術館等を備えた民間再開発ビルの整備 [延床面積：約 53,500 m ² 階数：地上 25 階、地下 2 階 用途：商業施設 (4,478 m ² 、11 店舗)、業務施設、公共公益施設 (美術館)、宴会場]
目標値・最新値	目標値： 268.3 億円増 (①～④事業の計) 最新値： 128.3 億円増 (①～④事業の計 推計)
達成状況	未達成
達成した（出来なかった）理由	指標算出根拠 4 事業 (①～④) のうち、静岡駅前紺屋町地区市街地再開発事業を含む 2 事業が完了・開業したことにより一定の商業振興が図られたものと推察するが、1 事業が完了するも開業前、1 事業が未完了であったこともあり、4 事業総体としての目標達成には至らなかった
計画終了後の状況（事業効果）	年間小売販売額の増加が図られるとともに、地域経済の活性化（雇用の創出、新たな民間事業の喚起）等の効果が見込まれる。
当該事業の今後について	実施済

③. 静岡呉服町第一地区市街地再開発事業（呉服町第一地区市街地再開発準備組合）

支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業） 平成 23 年度～平成 25 年度
事業開始・完了時期	平成 21 年度～平成 25 年度【済】
事業概要	商業施設、住宅、事務所、駐車場を備えた民間再開発ビルの整備 [延床面積：約 54,200 m ² 階数：地上 29 階、地下 1 階 用途：商業施設 (2,083 m ² 、5 店舗)、業務施設、住宅 (279 戸)、駐車場 (449 台)、駐輪場 (717 台)]
目標値・最新値	目標値： 268.3 億円増 (①～④事業の計) 最新値： 128.3 億円増 (①～④事業の計 推計)
達成状況	未達成
達成した（出来なかった）理由	指標算出根拠 4 事業 (①～④) のうち、2 事業が完了・開業したことにより一定の商業振興が図られたものと推察するが、1 事業が完了するも開業前、1 事業が未完了であったこともあり、4 事業総体としての目標達成には至らなかった。
計画終了後の状況（事業効果）	平成 26 年 4 月に開業し、年間小売販売額の増加が図られるとともに、地域経済の活性化（雇用の創出、新たな民間事業の喚起）等の効果が見込まれる
当該事業の今後について	実施済

④. 静岡呉服町第二地区市街地再開発事業（呉服町第二地区市街地再開発準備組合）

支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（市街地再開発事業等） 平成 23 年度～平成 28 年度
事業開始・完了時期	平成 21 年度～平成 28 年度【未】
事業概要	商業施設、事務所、高齢者施設、駐車場を備えた民間再開発ビルの整備 [延床面積：約 19,500 m ² 階数：地上 13 階、地下 1 階 用途：商業施設、業務施設、高齢者施設、駐車場 (約 230 台)]
目標値・最新値	目標値： 268.3 億円増 (①～④事業の計) 最新値： 128.3 億円増 (①～④事業の計 推計)
達成状況	未達成

達成した（出来なかった）理由	指標算出根拠4事業（①～④）のうち、2事業が完了・開業したことにより一定の商業振興が図られたものと推察するが、1事業が完了するも開業前、1事業が未完了であったこともあり、4事業総体としての目標達成には至らなかった。
計画終了後の状況（事業効果）	平成28年度に事業竣工・開業し、年間小売販売額の増加が図られるとともに、地域経済の活性化（雇用の創出、新たな民間事業の喚起）等の効果が見込まれる
当該事業の今後について	平成28年度の竣工に向け、平成26年度に市街地再開発組合の設立、権利変換計画の認可、平成27年度から建築工事着工予定

3. 今後について

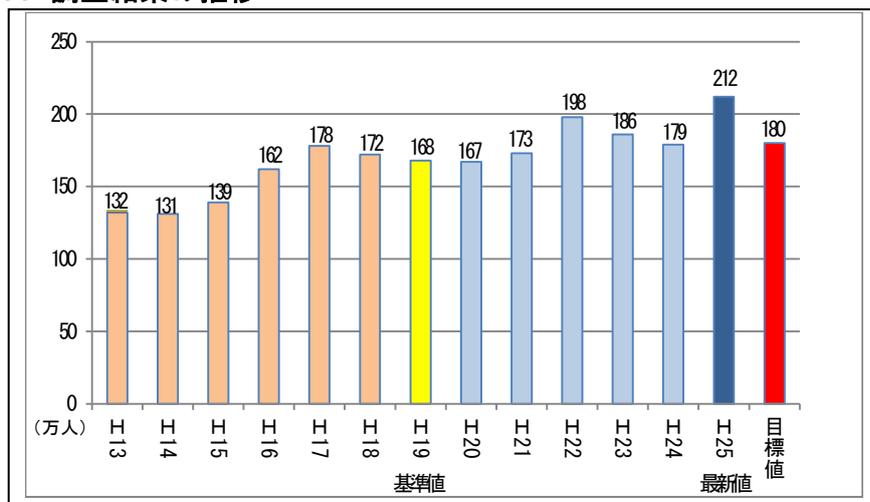
“商都、”と称される静岡地区中心市街地の活性化を推進するにあたり、最も重要な軸である商業機能の強化については、本計画終了後も引き続き取り組むべき課題と考える。本計画に基づき実施した各種事業、特に市街地再開発4事業等の既存ストックの活用や、地域に根付いた伝統行事や創意工夫に富んだイベントの開催等のソフト事業を実施することで、広域からの集客を図るよう一層努め、地域での購買活動に繋げる。各種の商店街支援施策や、まちづくり主体の活動促進を適時・適切に実施し、またそれらを積極的に連携させることで相乗効果を図り、地域商業機能の強化に向けた下支えを行う。

個別目標

目標「人」が集まる、魅力・にぎわいのまち」（集客・交流機能の魅力向上）

「施設利用者数」※目標設定の考え方基本計画 P95～P98 参照

1. 調査結果の推移



年	(万人)
H19 (基準値)	168
H20	167
H21	173
H22	198
H23	186
H24	179
H25	212
(目標値)	180

調査日時：平成 26 年 3 月

調査主体：静岡市

調査方法：各施設への照会

集計方法：静岡地区中心市街地区域内 9 施設（静岡市美術館、静岡科学館、御幸町図書館、静岡市民文化会館、駿府城東御門・巽櫓、紅葉山庭園、駿府博物館、静岡音楽館 A O I、静岡市役所内市民ギャラリー）の利用者数合計

【総括】

施設利用者数が示す「人」が集まる、魅力・にぎわいのまち」の実現に向けた事業は、概ね順調に進捗・完了した。主要事業である静岡市美術館整備事業等が完了し、集客・交流機能の魅力向上に大きく寄与した。静岡市美術館の来場者増加等もあり、最新値は 212 万人に到達し、目標値である 180 万人を超え目標を達成した。

2. 目標達成に寄与する主要事業の計画終了後の状況（事業効果）

①. 静岡市美術館整備事業（静岡市）

支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業） 平成 21 年度～平成 22 年度
事業開始・完了時期	平成 21 年度～平成 22 年度【済】
事業概要	静岡市美術館の整備 [延床面積：3,393.22 m ² 、展示室面積 約 1,100 m ² （展示室 1：209.76 m ² 、展示室 2：713.03 m ² 、展示室 3：204.17 m ² 、エントランスホール：612 m ² 、多目的室 180 m ² 、ワークショップ室：92 m ² ）]
目標値・最新値	目標値： 108,000 人増 最新値： 368,187 人増
達成状況	達成
達成した（出来なかった）理由	静岡市美術館整備事業が当初予定どおり完了し、幅広いジャンルの展覧会等を開催したため
計画終了後の状況（事業効果）	施設利用者の増加が図られ、地区のにぎわいの創出や小売販売額の増加等の効果が見込まれる
当該事業の今後について	実施済

②. 駿府城公園再整備事業（静岡市）

支援措置名及び 支援期間	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業） 平成 21 年度～平成 25 年度
事業開始・完了 時期	平成 21 年度～平成 25 年度【済】
事業概要	駿府城公園の坤櫓、芝生広場等の整備 [坤櫓概要 延床面積：391.08 ㎡ 構造：木造 2 階建 屋根：本瓦葺入母屋造 外壁：小舞土塗壁漆喰 塗] [芝生広場概要 施工面積：8,000 ㎡]
目標値・最新値	目標値： 1,700 人増 最新値： 7,306 人減
達成状況	未達成
達成した（出来 なかった）理由	駿府城公園再整備事業が当初予定どおり完了し、坤櫓、芝生広場の整備 は完了したが、中核事業である坤櫓の開業が計画期間後（平成 26 年 4 月） である等、計画期間内の利用者増は十分に図られなかった
計画終了後の状 況（事業効果）	施設利用者の増加が図られ、地区のにぎわいの創出や小売販売額の増加 等の効果が見込まれる
当該事業の今後 について	実施済

3. 今後について

都市福利施設の整備推進等により、まちの魅力・価値の創造、生活・文化の向上を図ることは、本計画終了後も引き続き取り組むべき課題と考える。中部横断自動車道の開通や東京オリンピック開催等を控え、より広域から観光・交流客を呼び込むことは、中心市街地の活性化を図る上で重要な方策である。現計画で整備した文化・交流施設や、歴史ある地域資源や新たな機会を最大限に活用し、市内外から多くの人を呼び込むことで、地域のにぎわい創出の推進を継続する。特に、単体では数十万人規模の集客を誇るイベントもある中、個々の事業の連携・協調を図り、相乗効果を発現させることで、人がより一層集まるまちづくりを推進する。